

北宇和高校教育寮



～ 木とともに、人とともに、地域とともに ～

住 所 〒798-1343 鬼北町大字近永1040番地1

建設経過

近年、人口減少、超高齢化、労働人口の減少等により、地方衰退といった課題が顕著化しております。こうした中で各自治体は、地域振興の核となりうる高等学校存続に向けた取り組みを強化しているところであります。

こうした中で、鬼北町と北宇和高校が連携し、全国生徒募集、高校魅力化事業を実施しており、定員数の確保や地元の中学生にとって地元の高校が多様性のある魅力的な選択肢になるための取組みを行っております。

全国生徒募集を後押しするため、魅力ある住環境の提供と、全国から訪れる生徒たちと地元生徒・地域住民の交流を図ることを目的に寮を整備しました。

北宇和高校学校林の利用

北宇和高校では、昭和20～30年頃年頃に植林された学校林(ヒノキ)を長年にわたり管理していました。植林・下刈り、枝打ちなど、これまでの管理に携わったのは北宇和高校の生徒たちです。

この寮の建設にあたり、この木をぜひ活用できないかということで、愛媛県教育委員会と協議のうえ、県と締結している学校部分林契約(47,801 m³)を解除のうえ、木材の無償譲渡を受け、この寮の建築材に利用しています。

寮建設に多大なご理解をいただきました愛媛県教育委員会及び、これまで長年にわたり学校林を守り育てていただいた北宇和高校 OB の皆様に深く感謝を申し上げます。



建設経過

【設計】 新企画設計株式会社

【施工】(建築工事) 一宮工務店・愛媛建設特定建設工事共同企業体

(電気工事) 兵頭電気株式会社

(設備工事) 株式会社ヒロケンテクノス南予営業所

●主な特徴

・周辺民家との調和を図る勾配、ヒノキ張りの外壁による「和風調」のモダン建築とし、寮生たちの第2の住居として心に残る建物としました。

・学校林のヒノキを活用し、爽やかな木の香りと質感を生かせる、豊かな木造空間が広がります。



施設概要

1 施設概要

- ◇住 所 鬼北町大字近永 1040-1 外
- ◇延床面積 605.17 m² (1 階 307.2 m²、2 階 297.9)
- ◇構 造 木造 2 階建
※外装・内装に学校林の木材を使った温かみのある建物です。
- ◇主な部屋 寮室 (14 室)、事務室、管理人室、ラーニングcommons学習室
多目的ホール、共用ルーム (食堂・談話室、ラウンジ、和室)
シャワー室、洗濯干場、洗面洗濯室



2 寮室について

寮室はすべて 2 階で全室個室です。(シャワー室・トイレは男女それぞれ共用)
2 階は男女のエリア分けができるようになっております。

3 寮の管理について

寮専属の 3 人のハウスマスター (地域おこし協力隊) が、
寮生の生活・学習・学校生活など、保護者の立場となって
しっかりとサポートします。夜間は宿直者が常駐します。



4 セキュリティーについて

寮には、常にハウスマスターまたは宿直者が常駐しています。

防犯面では、施設内外にはプライバシーに配慮しつつ、防犯カメラを設置し不測
の事態に備えます。

防災面は、各部屋の自動火災報知設備のほか、火災時の避難タラップの設置 (3
か所)、随所に消火器を設置しています。

5 食事について

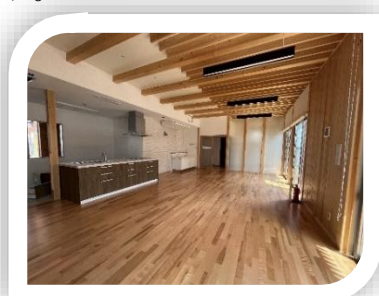
町内飲食事業者へ委託。寮まで配達 (朝食・夕食) してもらい、食堂で取分けす
る給食方式とします。昼食は学校に弁当を配達します。

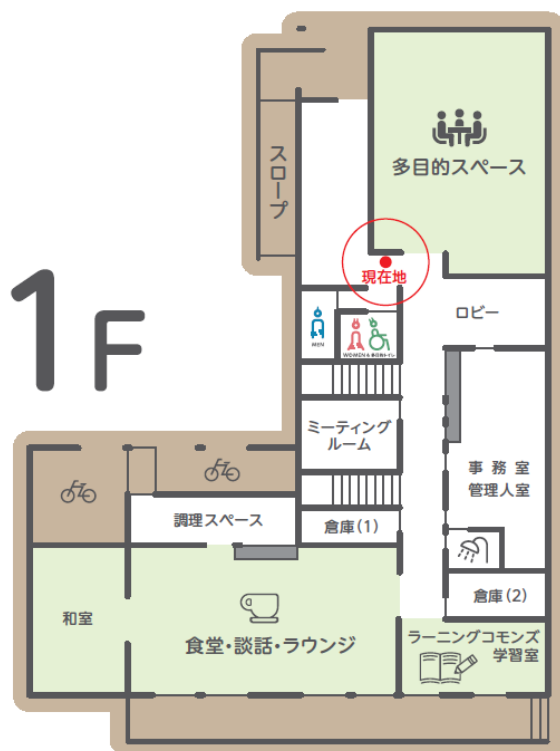
栄養バランスに配慮した献立となるよう町栄養士の助言を受けます。

6 共用スペースについて

寮生のコミュニケーションが図れるよう食堂・談話室のほか、ラウンジ・和室を
設け、ゆっくりくつろげる空間に配慮しています。

また、地域住民や寮生以外の生徒との交流が図れる
多目的スペースを設置しています。





食堂・談話室



和室



キッチン



ラーニングcommons学習室



寮室



2F



洗面室



廊下